

穀 雨 こくう

主な花材



花ショウブ

(愛知県産)

サトイモ科の「ショウブ」とアヤメ科の「花ショウブ」は、まったく別物の花です。しかしアヤメ科の花ショウブもサトイモ科のショウブと似た葉を持っており、花が美しいことからこのように呼ばれるようになりました。

花言葉：優しい心、伝言、忍耐



ラークスパーク (ライラック)

(和歌山県産)

名前の由来は、花の形がツバメに似ていることから付けられました。ラークスパークは英語でひばり (Lark) の蹴爪 (spur) を意味します。和名では千鳥草や飛燕草と呼ばれています。

花言葉：軽やかさ、陽気



ギリア (レプタンサ)

(佐賀県産)

花名は、18世紀末にこの花を発見した植物学者ギルの名前にちなんで命名されました。レプタンサは、青紫の小さな花が球状になって咲く、ギリアの中では一番草丈がある品種です。

花言葉：気まぐれな恋、ここに来て



アセビ

(大阪府産)

名前の由来は、馬が食べると酔ったように足がふらつくことから付けられたといわれています。2月から4月に、白や赤の小さな花をたくさんつけます。

花言葉：純真な心、献身

